

## 相互交流を生かした人材育成講座 開催実績

平成23年度

	実施日	テーマ	内容	対象	参加人数	講師
1	平成23年8月2日	横須賀市内の自然環境学習	総合学習のフィールド研究として、猿島の自然観察会を行う。	小学校教諭	32名	森林インストラクター
2	平成24年3月5日	放射線を知る	野外活動を行う環境教育指導者及び市職員の、放射線への理解を深める。	市民活動団体、市職員	38名	武蔵大学人文学部 葉袋佳孝教授
3	平成24年3月19日	企業における環境活動の取り組み	市内企業における環境活動、新エネルギーの取り組みを知り、今後の環境行政の参考とする。	市職員	22名	東芝ライテック(株)職員

平成24年度

	実施日	テーマ	内容	対象	参加人数	講師
1	平成24年8月1日	横須賀市内の自然環境学習	総合学習のフィールド研究として、県立観音崎公園の自然・歴史観察を行う。	小学校教諭	17名	観音崎フィールドレンジャー
2	平成24年12月20日	学校カリキュラムと環境学習の現状	学校において活動を行う、又は行う予定のある市民活動団体が、学校のカリキュラムや実践について学び、理解を深める。	市民活動団体、市職員	37名	教育指導課指導主事、 小学校教諭
3	平成25年2月1日	企業における環境活動の取り組み	事業所内の排水を利用したピオトープ「ラグーン」とリサイクルセンターの見学を行い、企業における環境活動を学ぶ。	市職員	12名	(株)東芝横浜事業所職員

平成25年度

	実施日	テーマ	内容	対象	参加人数	講師
1	平成25年8月23日	「横須賀のごみを探る」 現場職員の講義、ごみ処理施設の見学	横須賀市の廃棄物に特化した内容を、現場職員からの講義、ごみ処理施設(南処理工場)の見学を通して学ぶ。	小学校教諭	6名	市職員
2	平成26年2月5日	保育園におけるエコ育の取り組み	保育園で実施されている環境学習の取組みの見学、保育士による幼児の特性の解説を通して、幼児対象の環境教育の参考とする。	環境活動者(環境教育指導者、補助指導者)	9名	市職員

平成26年度

	実施日	テーマ	内容	対象	参加人数	講師
1	平成26年8月12日	田んぼの自然観察会	自然環境としての田んぼの役割について、講義とフィールドワーク(沢山池の里山)を通して学ぶ。	学校教諭	16名	里山実行委員会委員長 天白牧夫氏
2	平成26年10月7日	行動につなげる環境教育	環境活動者を対象に、行動につなげるための環境教育について、講義と事例発表を通して学ぶ。	市民活動団体、市職員	36名	神奈川大学教授 松本安生氏
3	平成26年10月24日	横須賀生まれのエコカー (企業における環境活動の取り組み)	市内企業の環境の取組みについて、施設見学等を通して学ぶ。	市民活動団体	17名	日産自動車職員

平成27年度

	実施日	テーマ	内容	対象	参加人数	講師
1	平成27年8月5日	生物多様性と外来生物フィールドワーク	生物多様性と外来生物の用語の再確認と、フィールドワークを通して横須賀の自然環境を学ぶ。	学校教諭	18名	三浦半島生物多様性保全 天白牧夫氏
2	平成27年9月3日	横須賀の自然環境を見つめ直そう	環境活動者を対象に、行動につなげるための環境教育について、講義と施設見学を通して学ぶ。	市民活動団体、市職員	19名	自然・人文博物館学芸員
3	平成27年10月1日	「都市ガス」の理解を深めよう	市内企業の環境の取組みについて、施設見学等を通して学ぶ。	市民活動団体、市職員	18名	東京ガス職員

平成28年度

	実施日	テーマ	内容	対象	参加人数	講師
1	平成28年8月10日	天神島大冒険！-50周年の天神島で学ぶ-	横須賀の地層と植物について、講座とフィールドワークを通して学ぶ。	学校教諭	17名	自然・人文博物館学芸員
2	平成28年10月7日	ワークショップ:天神島で考える～伝えたいこと、伝えかた～	環境活動者を対象に、ワークショップを通して、感じることを共有すること、伝えることを学ぶ。	市民活動団体、市職員	18名	自然・人文博物館学芸員
3	平成28年10月17日	電力中央研究所 横須賀地区の研究所を知ろう！	市内研究所の環境の取組みについて、施設見学等を通して学ぶ。	市民活動団体、市職員	19名	電力中央研究所職員

平成29年度

	実施日	テーマ	内容	対象	参加人数	講師
1	平成29年7月26日	出張出前授業「日産わくわくエコスクール」体験	市内企業の小学生向け出張環境授業を体験する事で、環境教育への導入の参考とする。	学校教諭	9名	日産自動車(株)社員
1	平成30年1月16日	施設見学 国立環境研究所 -環境問題研究の今を知る-	地球温暖化、資源循環・廃棄物について、現場の研究者から現在研究をしている事例の説明を聞く。	市民活動団体、市職員	14名	国立環境研究所研究員他
1	平成30年3月15日	海を素材とした私の科学コミュニケーション活動	環境活動者を対象に日本海洋学会から講師を招いて気候変動について学ぶ。	市民活動団体、市職員	21名	日本海洋学会